



第5回 国府宮駅周辺再整備検討会



令和2年11月17日（火）

時間：14:00～16:00

於：稲沢市役所 議員総会室

1



国府宮駅周辺長期ビジョンについて



2



序 国府宮駅周辺長期ビジョン検討の 経緯及び位置づけ



検討の経緯

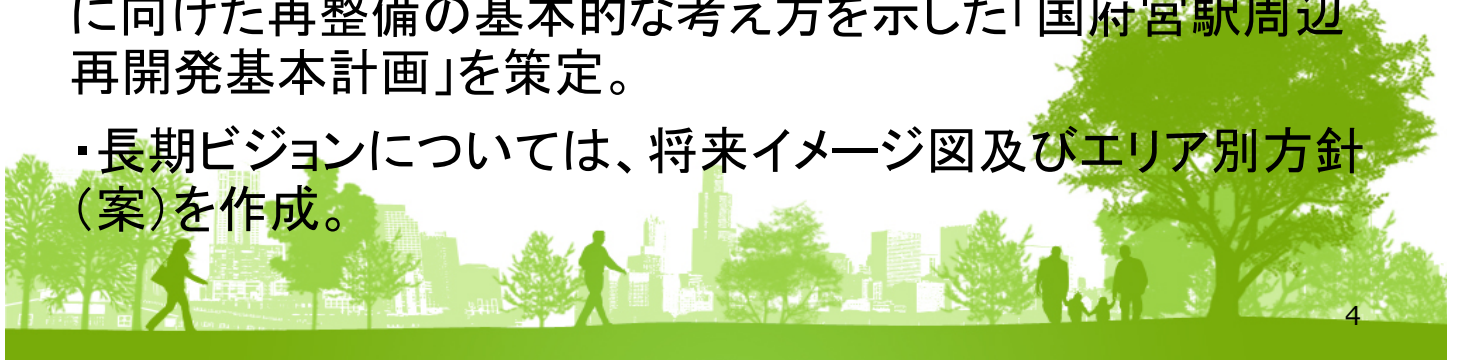
■平成30年度

・国府宮駅周辺の再整備に係る長期ビジョンのイメージや、短期ビジョンにおける再整備案をとりまとめ。

■令和元年度

・2つの組織(国府宮駅周辺再整備に係る再開発研究会、国府宮駅周辺まちづくりを考える会)を立ちあげ、短期ビジョンに向けた再整備の基本的な考え方を示した「国府宮駅周辺再開発基本計画」を策定。

・長期ビジョンについては、将来イメージ図及びエリア別方針(案)を作成。





位置づけ

- ・「第3次稲沢市都市計画マスタープラン」では、国府宮駅周辺について、都市中心拠点にふさわしいまちづくりを進める地域として、重点施策エリアに設定。
- ・令和2年度は、都市計画マスタープランで掲げた重点施策エリアに向けた取組みと、これまでにとりまとめた長期ビジョンに基づいて、より具体的な国府宮駅周辺まちづくり構想(案)をとりまとめる予定。



5



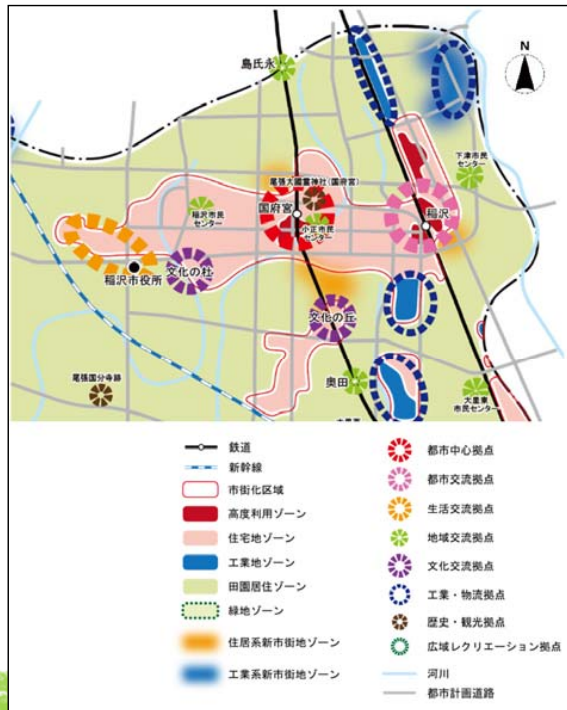
検討対象区域

- ・国府宮駅周辺長期ビジョンにおける検討対象区域は、都市計画マスタープランで設定している重点施策エリア。
- ・国府宮駅を中心とした都市中心拠点地区、市民会館や図書館、市民病院を中心とした文化交流拠点周辺地区に分け、それぞれを連携させる。

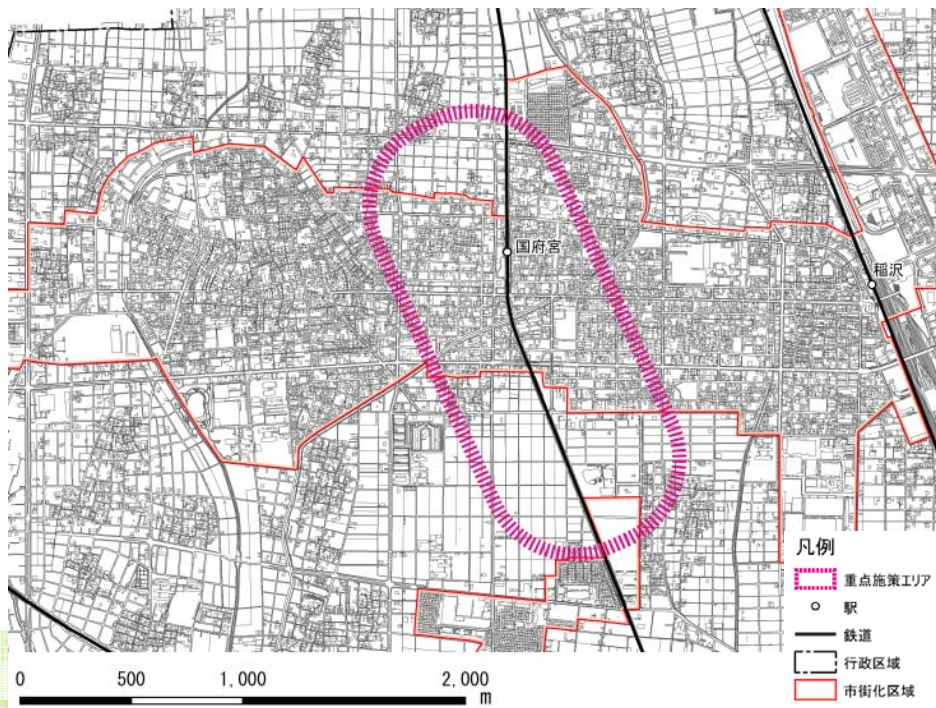


6

検討対象区域



検討対象区域





1 上位・関連計画調査

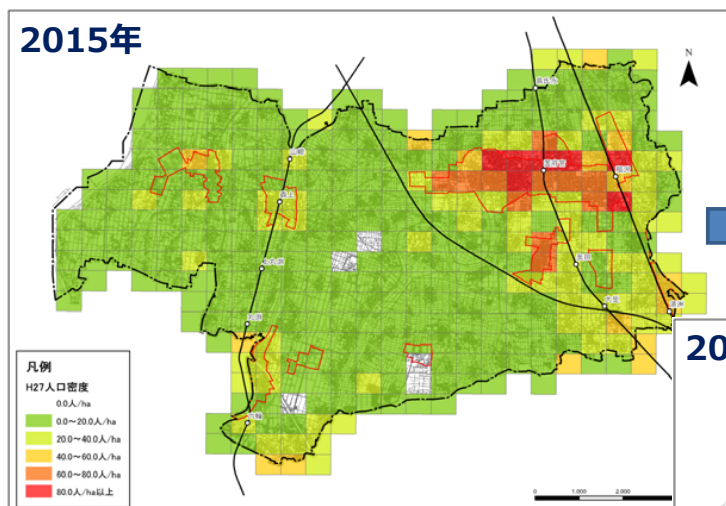


(1) 上位・関連計画からの配慮事項



配慮事項① 将来人口を踏まえたまちづくり

2015年

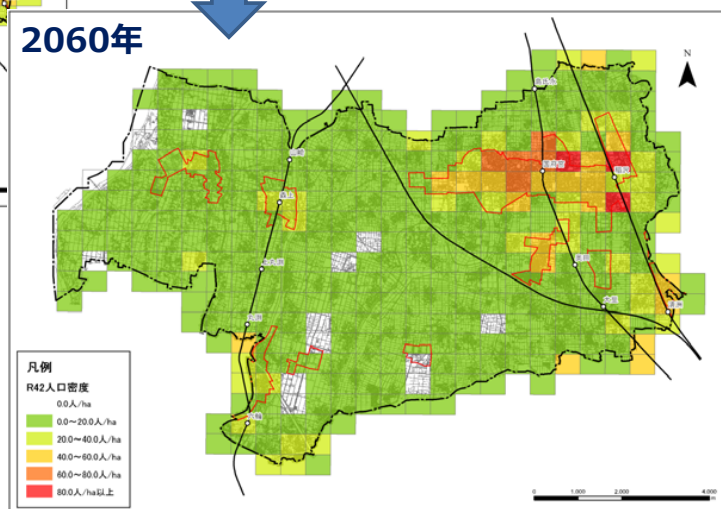


現在、稲沢市の人口は国府宮駅周辺から稲沢駅周辺の地域に集中。

市全体の将来推計人口では、長期的には大きく減少する恐れあり。

稲沢市の人口が減少しても、国府宮駅周辺から稲沢駅周辺の地域では都市の市街地として必要な60人/ha以上の人口密度が確保できそう。

2060年



11

稲沢市の都市構造の核となる中心市街地としての役割を担う

長期的な人口減少がもたらす市街地全体の空洞化を避けるために、人口集積の高い国府宮駅周辺では次のようなまちづくりが必要

■ 市内の市街化調整区域から流入してくる人の新たな生活の場としての役割

○農村地域のライフスタイルより、生活利便性の高いライフスタイルを求める人の新たな生活の場としての役割を担う。

■ 市全体の人口減少を抑制する新規転入を促す住宅地としての役割

○名古屋駅周辺へのアクセス性が高い国府宮駅周辺の利便性を活かして、市全体の人口減少を抑制する市外からの定住人口を確保する住宅地として役割を担う。

12

配慮事項② 都市を活性化するまちづくり

次代を担う若者や子育て世代の定住を促進するにあたっては、

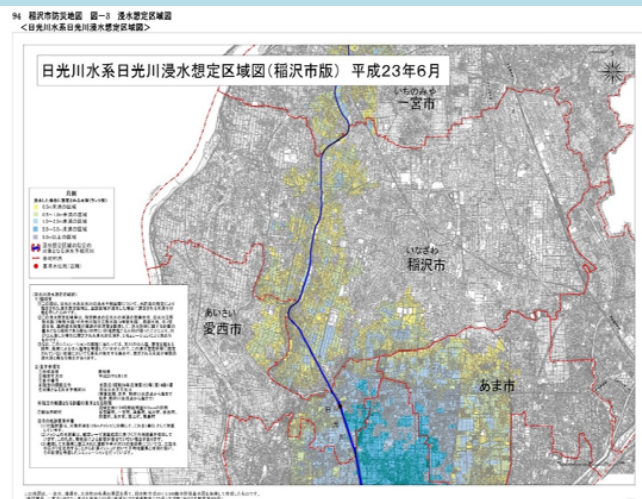
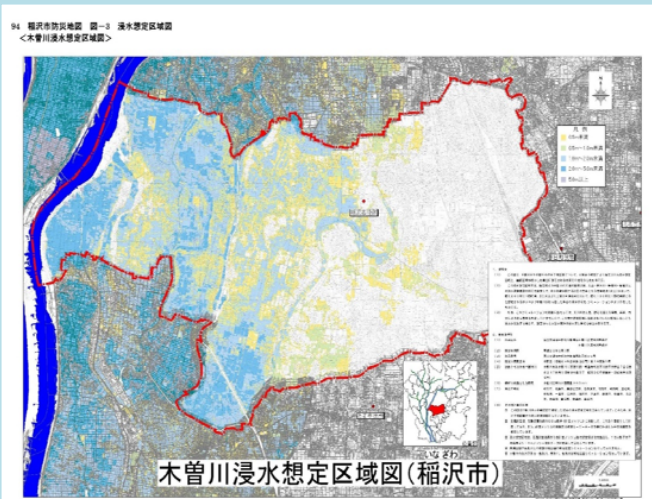
- ◆ 多様化する職業選択や働き方ニーズに対応した先進的な企業・事業所の立地誘導
- ◆ 都市の活力や賑わいが目に見える街で働く生きがい感の提供

**国府宮駅周辺は多様な職業や働き方のニーズに対応した
先進的な企業・事業所が立地する場としての役割**

13

配慮事項③ 安心・安全のまちづくり

本市西部に比べると相対的に安全な状況にある国府宮駅周辺
⇒ **市民の安心・安全な暮らしを支える市街地としての役割**



14



(2) 我が国のまちづくりの潮流



15

国府宮駅周辺のまちづくりの方向性

ウォークブルシティ まちづくりの目線を自動車 目線から人間目線へ！

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりのキーワード

Walkable 歩きたくなる
Eye level まちに関わった目線
Diversity 多様な人の多様な用途、使い方
Open 開かれた空間が心地良い



スマートシティ 持続的なまちづくりに に向けた新技術の 活用！

スマートシティ
⇒ 都市・地域の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| Mobility 交通 - 公共交通を中心に、あらゆる形態の移動に柔軟に対応 | Nature 自然との共生 - 水や緑と調和した都市空間 | Energy 高エネルギー - パワープラントや再生可能エネルギー施設を統合し、エネルギーを効率的に供給 | Security 安全安心 - 災害・犯罪・事故の発生を未然に防ぐための技術活用 | Resource 資源循環 - 廃棄物の削減・資源の有効活用 |
|--|--|--|--|--|

グリーンインフラ 地球環境配慮、都市 の強靭化に向けた 「みどり」の活用！



新たな交通結節点

誰もが安心、安全、快適に 移動できる都市環境を！

マイカーなしでも便利に移動できる道路

マイカーを持たなくても便利に移動できるモビリティサービス(MaaS)が、すべての人に移動手段を提供する



様々な交通モードの路線・乗り換え拠点(モビリティ・ハブ)

16



(3) 尾張地域のSWOT分析



17

SWOT分析と都市づくりの課題整理

| | | |
|---|--|--|
| | 【Strength (強み)】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 名古屋市都心との近接性 ➢ 歴史資源の豊富さ ➢ 豊富な緑資源、農産物 ➢ 相対的に低い地価 | 【Weakness (弱み)】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 都市財政の基盤となる産業集積の不足 ➢ 定住人口を引き付ける都市の魅力の不足 |
| 【Opportunity (機会)】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ リニア中央新幹線開業 (名古屋都心の高度化) ➢ リモートワークの進展 (住宅地選択の多様化) ➢ 地球環境負荷軽減 (省エネ、CO2削減等) | 都市づくりの課題 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ソーシャルディスタンスの確保や快適な在宅勤務が可能な「生活利便性」と「高質生活環境」が両立する「暮らしやすいまちづくり」を進める ◆ 歴史資源や緑資源を最大限生かした「<u>個性的なまちづくり</u>」を対外的に発信し、都市の魅力を訴求 <p style="text-align: center;">暮らしやすい・個性的</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ほかの近郊都市にはない高水準の都市環境を構築し、これを訴求することで新たな定住人口や産業・都市機能の集積を図る <p style="text-align: center;">高水準都市環境</p> |
| 【Threat (脅威)】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口減少、超高齢化 ➢ 東南海地震 ➢ 異常気象の発生 ➢ 感染症 | 安 全 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地価の安さを活かしたゆとりと潤いに満ちた「<u>安全なまちづくり</u>」を進め、「安心安全な街 稲沢」を訴求 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地震(倒壊、延焼等)や水害に強い「<u>安全なまちづくり</u>」を進め、「安心安全な街 稲沢」を訴求 |

18

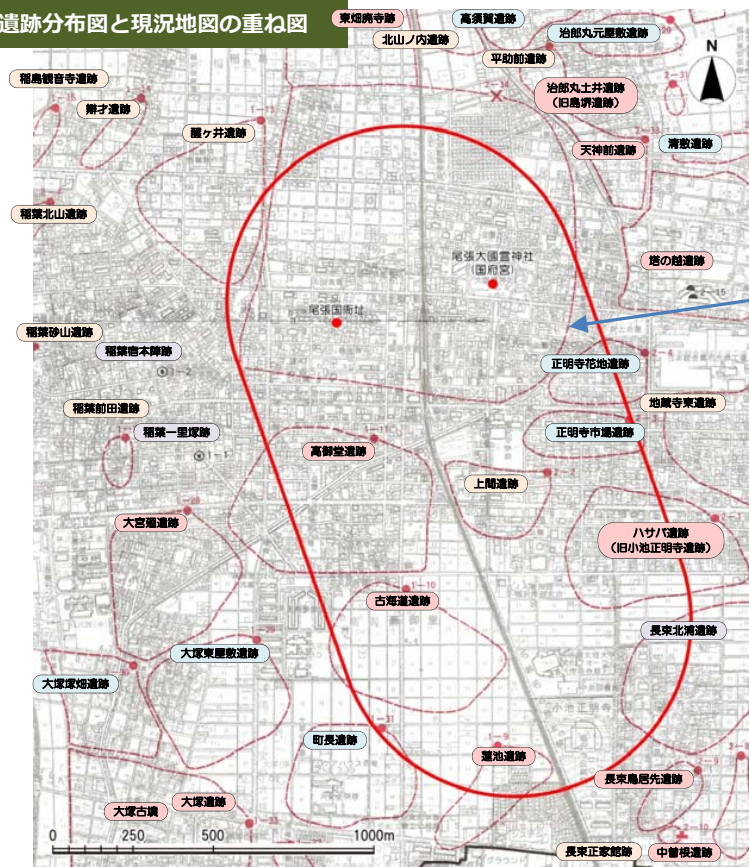


2 地域・地区の現況調査



稲沢の国府（古代の稲沢）の記憶発掘

遺跡分布図と現況地図の重ね図

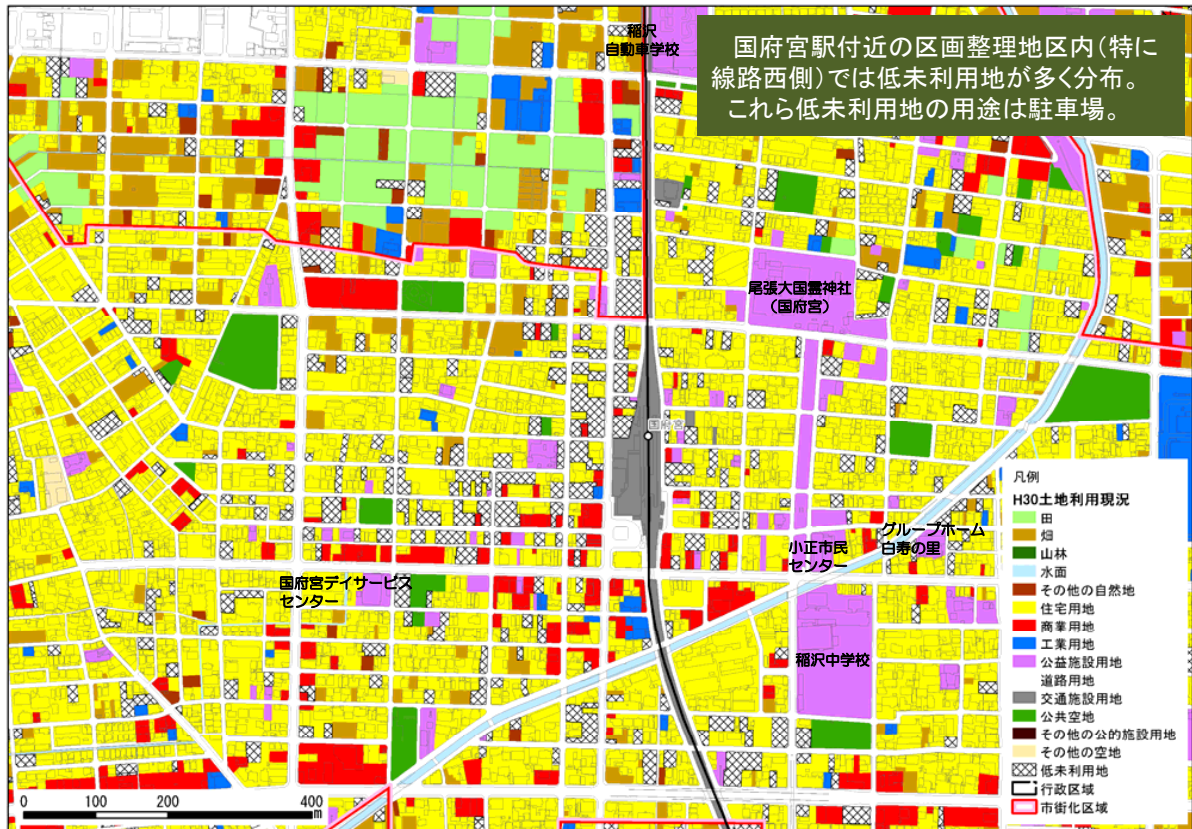


国府宮駅周辺地域には尾張国府跡をはじめ古代の遺跡が多く分布。

尾張国府跡

都市中心拠点地区の土地利用現況

土地利用現況図（H30年度都市計画基礎調査）



21

文化交流拠点周辺地区の土地利用現況

土地利用現況図（H30年度都市計画基礎調査）



22

地域・地区の現況特性

【 国府宮駅周辺地域 】

- ① 稲沢の国府（古代の稲沢）の記憶発掘
 - ・国府宮駅周辺地域は古代の遺跡が多く分布
 - ・国府宮駅前付近は尾張国府の遺跡エリアであり、名鉄名古屋本線は中央を通行
- ② 国府宮駅周辺地域の整備履歴
 - ・国府宮駅は1924年（大正13年）
 - ・国府宮駅前付近の区画整理は1954年（昭和29年）に施行開始され、施行期間は29年間
- ③ 国府宮駅周辺地域の公園整備状況
 - ・国府宮駅周辺の公園は区画整理により整備されており、整備後40年以上を経過
 - ・量的な整備水準は高いが、公園施設の老朽化が進行
- ④ 国府宮駅周辺地域の緑と歴史のネットワーク資源、居場所資源の発掘
 - ・国府宮駅を中心として半径1km圏内の資源分布をみると、歴史文化、公園、教育施設等が多く立地
- ⑤ 農業関係の法規制
 - ・市街化調整区域のまとまりある農地は農用地指定がされ、農地保全を法的に担保
- ⑥ 農業投資履歴
 - ・国府宮駅周辺地域の農地では昭和30年代に農業投資。但し、小池正明寺地区は平成時代

23

地域・地区の現況特性

【 都市中心拠点地区 】 -----

- ・国府宮駅付近の区画整理地区内の区画道路は概ね幅員6mであり、土地の高度利用を図る場合には8m以上、歩道設置の場合は9m以上の幅員が必要
- ・国府宮駅付近の区画整理地区内（特に線路西側）では低未利用地が依然として多く分布。これら低未利用地の用途は駐車場

【 文化交流拠点周辺地区 】 -----

- ・鉄道西側の地区では3m未満の道路（農道）が多い
- ・農地は概ね水田。畑地は少ない

24



3 課題の整理



(1) 都市中心拠点地区の課題

■ 上位・関連計画調査より

- 名古屋都心や就業地へのアクセス利便性を活かしつつ、ゆとりある土地資源を活かした**多様なライフスタイルを提供する名古屋都市圏の次世代型住宅都市**の形成
- 稲沢市の個性である**歴史性をまちづくりに最大限に活用**
- 稲沢市民のまちなか居住を長期的に保証する生活利便性と安全性・快適性を備えた**多機能複合型・多世代居住型市街地の形成**
- 自動車社会型都市から**公共交通・徒歩自転車型都市へのパラダイムシフト（人間中心の街）**
- 緑が有する環境改善、防災、景観形成等の**グリーンインフラ機能の総合的展開**の推進

■ 地区の現況調査より

- 稲沢市のシティブランディングを「尾張国府」「植木」で視覚的に**アピール**：歴史と緑のまち
- 国府宮駅周辺の低未利用地のビルドアップを促進する**まちづくりの起爆剤となる新たなインフラ整備**及び既存ストックの改善・活用
- **身近に緑と農に触れ合える場をきめ細かく配置**するとともに、そのふれあいの場を公共的な開かれた場とすることで住民相互の交流を育む
- **住民交流の場をコアにして**まちの賑わいを創出（戸外での生活活動の活発化）
- 住まい、働き、学び、遊び、楽しめる**多機能な住宅都市としての機能立地促進と空間デザイン**

■ 事例調査より

- 目標とする都市像を実現するための「**まちづくり事業**」の積極的な展開

26

(2) 文化交流拠点周辺地区の課題

■ 上位・関連計画調査より

- 稲沢市の財政基盤の強化、市民の雇用の場の確保、定住人口の流入促進に向けた**企業誘致**

■ 地区の現況調査より

- まとまりある**農地の有効活用**、一体的土地利用転換の誘導
- 企業誘致に必要な**産業基盤としての幹線道路網の整備促進**
- 既存住居系土地利用と調和する**新たな土地利用**の展開

27



4 重点施策エリアの将来像等の検討



28



(1) 国府宮駅周辺地域の将来像



国府宮駅周辺地域のまちづくりのコンセプト

『すぐそば大都市名古屋の近郊で、緑と歴史を身近に感じられるまち・国府宮』

- ◎名古屋駅まで 10 分・名古屋駅から 10 分という便利さを活かしつつ、多様なニーズに対応した居住の場や雇用の場、充実した生活利便施設が便利な暮らし・多彩な生活スタイルを支えます。
- ◎そして、緑豊かで歴史・文化を感じられる街並みがワンランク上の質の高い暮らしを演出します。
- ◎このように「国府宮」地区の魅力を高めることで、稲沢市が居住地（住む場）・従業地（働く場）として選ばれ続ける都市となることを目指していきます。

生活サポート・質の向上を備えたまちづくり

稲沢市が居住都市として選ばれる都市とするために、名古屋へのアクセス利便性に特に優れ、稲沢市の玄関口であり都市全体のイメージを象徴する国府宮駅前において、居住の場の確保とともに、居住都市として魅力アップのために必要な要素（生活サポート・質の向上）を備えたまちづくりを展開します。

歩いて楽しめるふれあい・交流の場づくり

にぎわいと活力に満ちた都市とするために、玄関口として多くの人が集う国府宮駅前において、ふれあい・交流の場の確保を進めるとともに、駅東西の市街地が一体となり、歩いてまちの魅力を楽しめるまちづくりを展開します。

安心・安全に暮らせる居住の場づくり

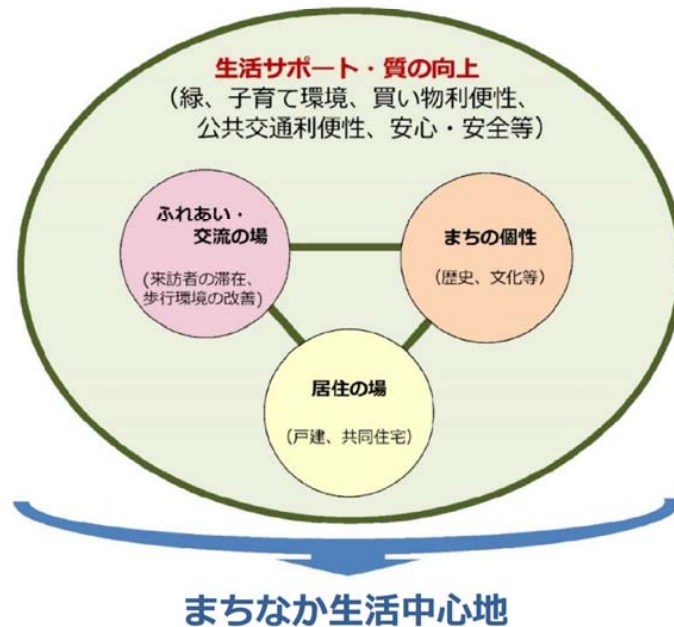
「国府宮駅周辺の課題」への対応として、本地区の最大の強みである「公共交通利便性」の活用・充実、住む人が長く住み続けることができる・住み続けたいくなるような「安心・安全」の確保を図ります。

誇りや愛着心を育むまちの個性づくり

稲沢市がいつまでも暮らし続けたい都市となるために、まちへの誇りや愛着心を育む「まちの個性」づくり（地域固有の歴史や文化等を活かしたまちづくり）を展開します。

国府宮駅周辺地域のまちづくりのコンセプト

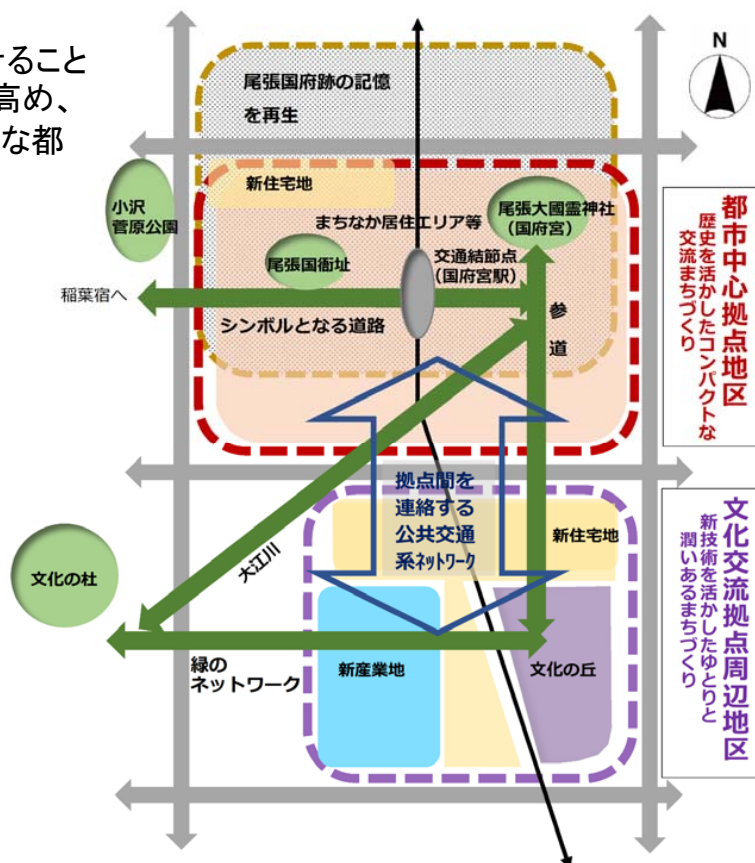
国府宮駅東西の市街地が一体となり、
歩いて暮らしやすい、にぎわいと活気生まれる
“まちなか生活中心地”づくり



31

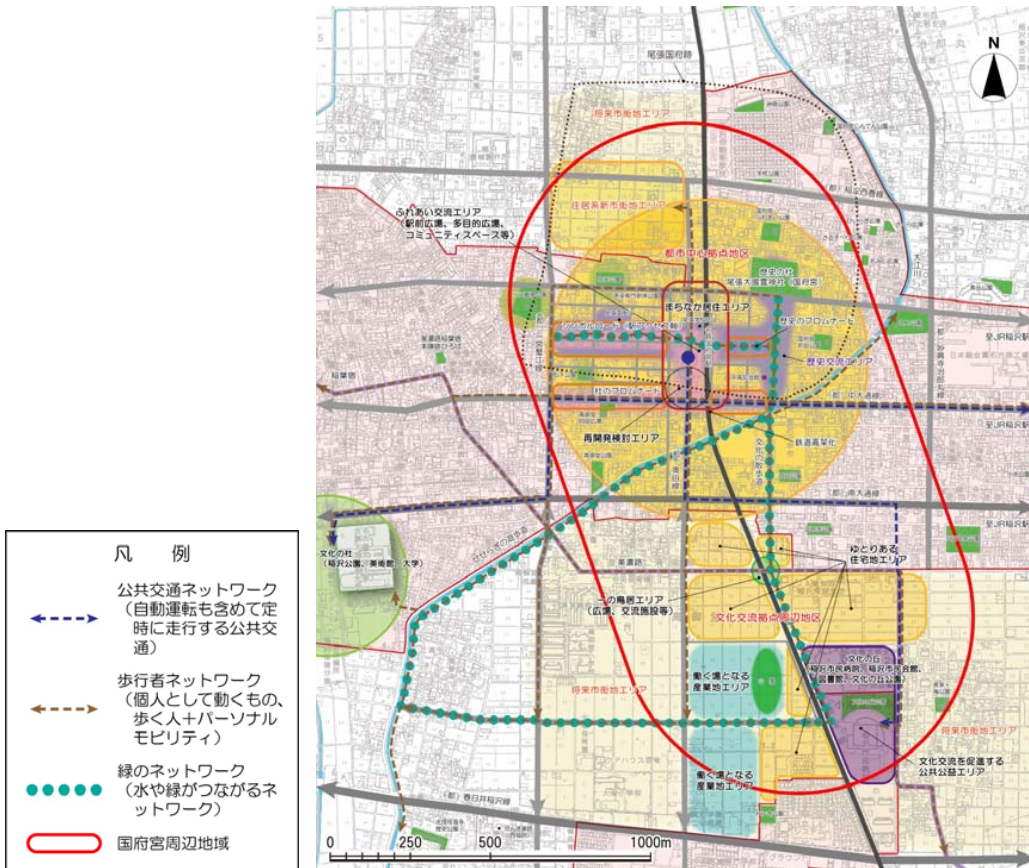
国府宮駅周辺地域 “まちなか生活中心地” の基本的構成

二つの地区の個性を際立たせることでまちづくりのポテンシャルを高め、多様な都市機能立地、魅力的な都市空間形成を誘導



32

国府宮駅周辺地域 まちづくり構想図（案）



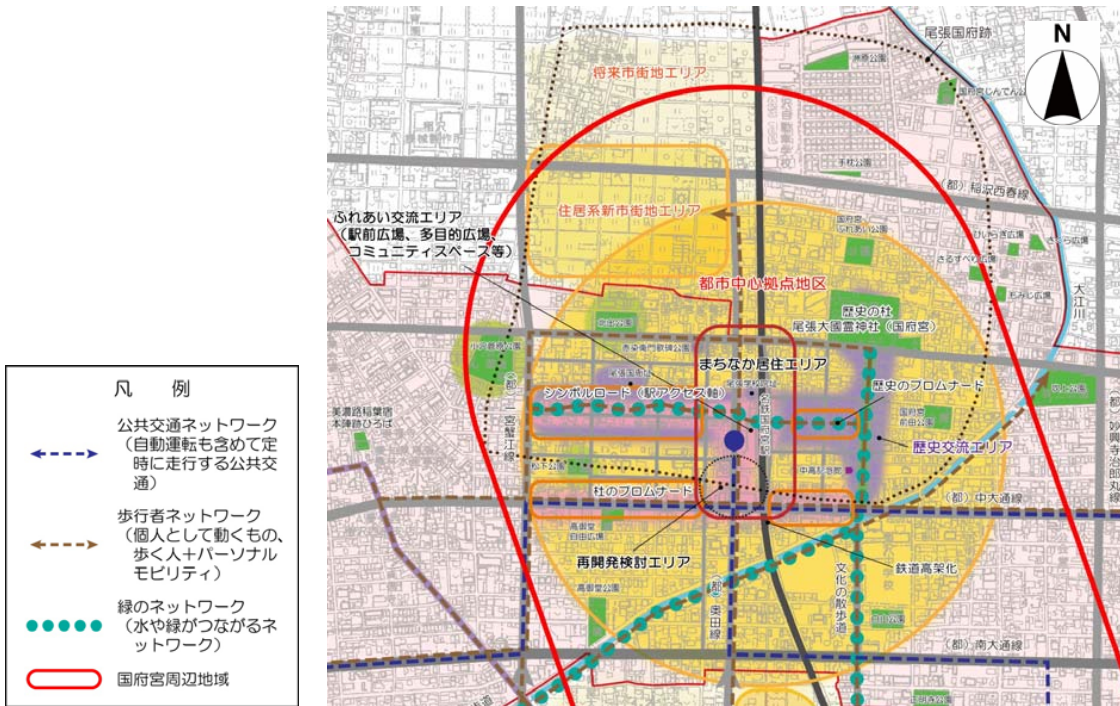
33

(2) 都市中心拠点地区の将来像



34

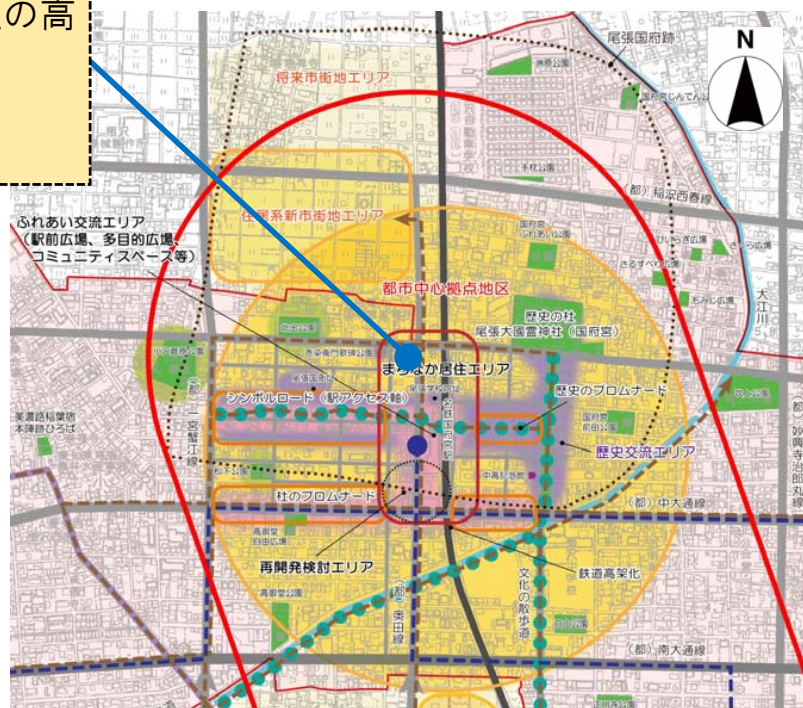
都市中心拠点地区 まちづくり構想図（案）



35

まちづくり構想図（案）（まちなか居住エリア）

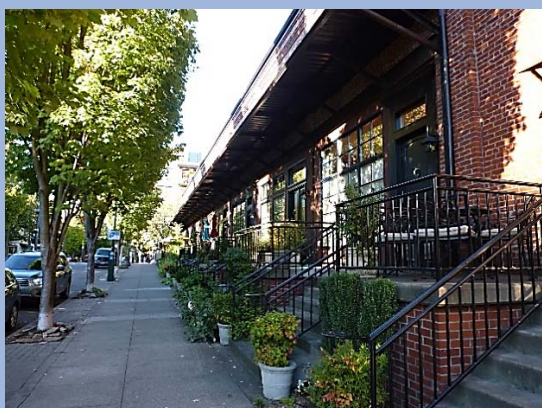
- まちなか居住エリア**
- 東西を一体化し、回遊性の高い市街地の形成
 - まちなか居住の促進
 - 安全性の向上



36

まちづくり構想イメージ

お洒落な店舗 人がたたずめる場所



37

まちづくり構想イメージ

緑豊かで使い勝手がいい公園や広場



公園のような道路

イラスト出典: 2040、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～(国土交通省)



38

まちづくり構想イメージ

人が歩くことが楽しめるまち



39

まちづくり構想イメージ

緑豊かで安心して歩けるまち

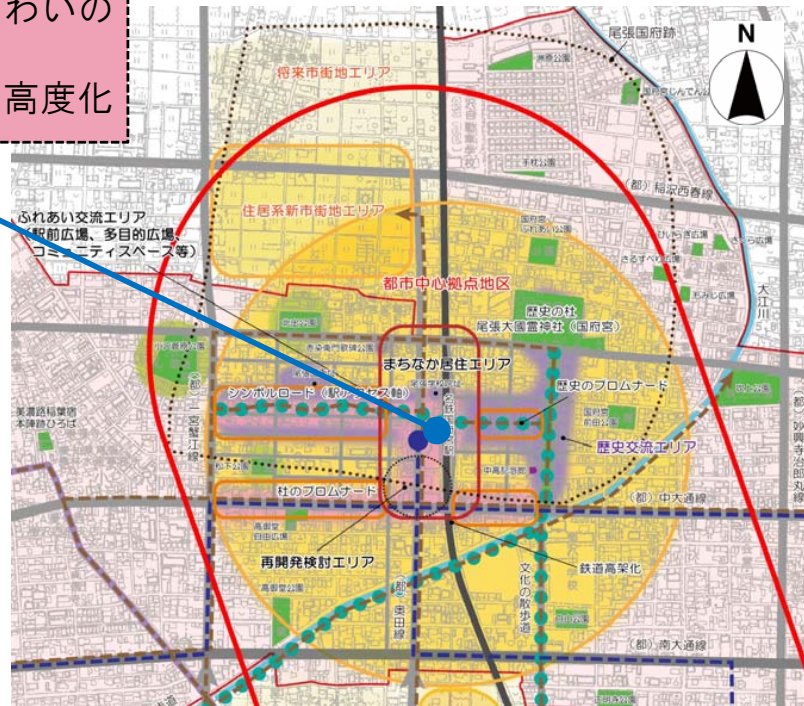


40

まちづくり構想図（案）（ふれあい交流エリア）

ふれあい交流エリア

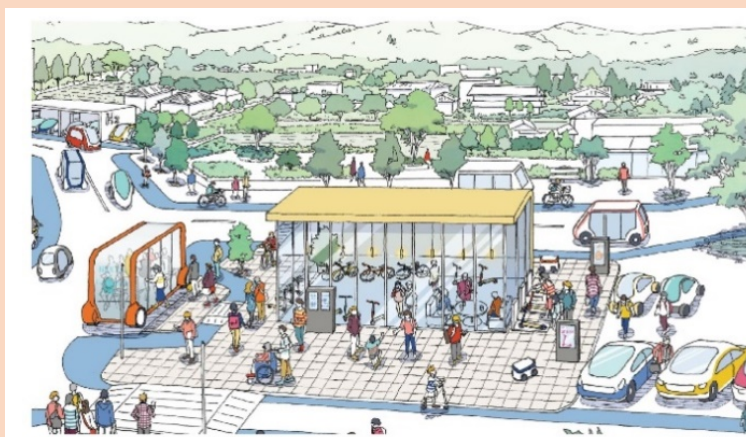
- 多様な人々の交流とにぎわいの場の創出
- 交通結節点機能の強化・高度化



41

まちづくり構想イメージ

自動運転などに対応した人が主役の交通ターミナル



様々な交通モードの接続・乗り換え拠点（モビリティ・ハブ）

イラスト出典：2040、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～（国土交通省）

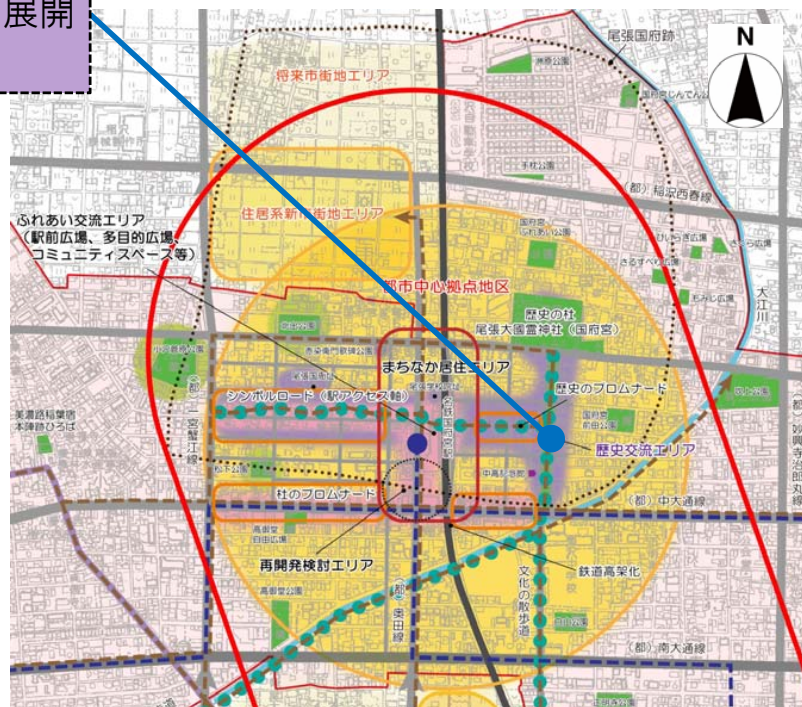


42

まちづくり構想図（案）（歴史交流エリア）

歴史交流エリア

- 歴史的資源の魅力向上と展開
- 歴史的資源の情報発信

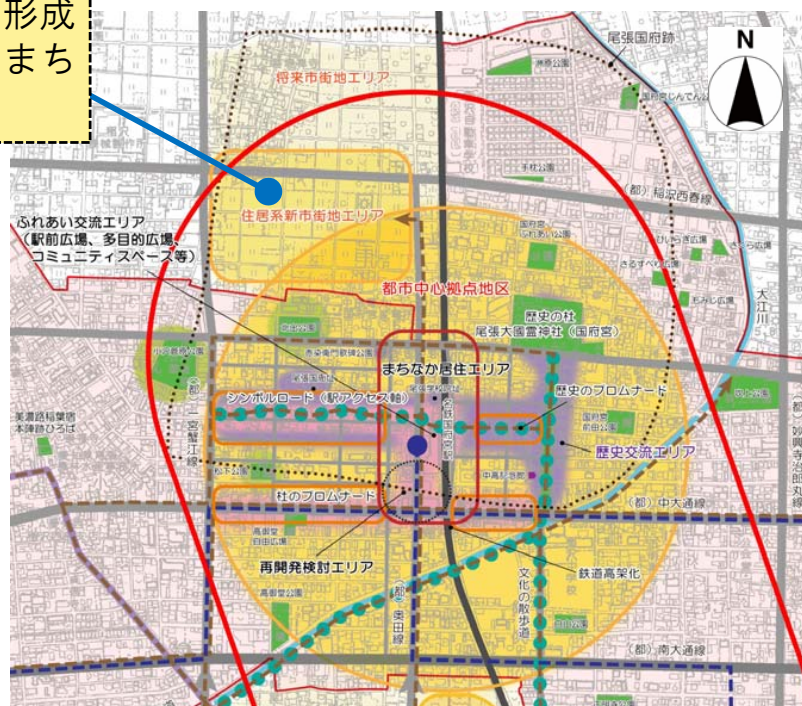


43

まちづくり構想図（案）（住居系市街地エリア）

住居系新市街地エリア

- 緑豊かな住居系市街地の形成
- 安心して歩いて暮らせるまちづくりの推進



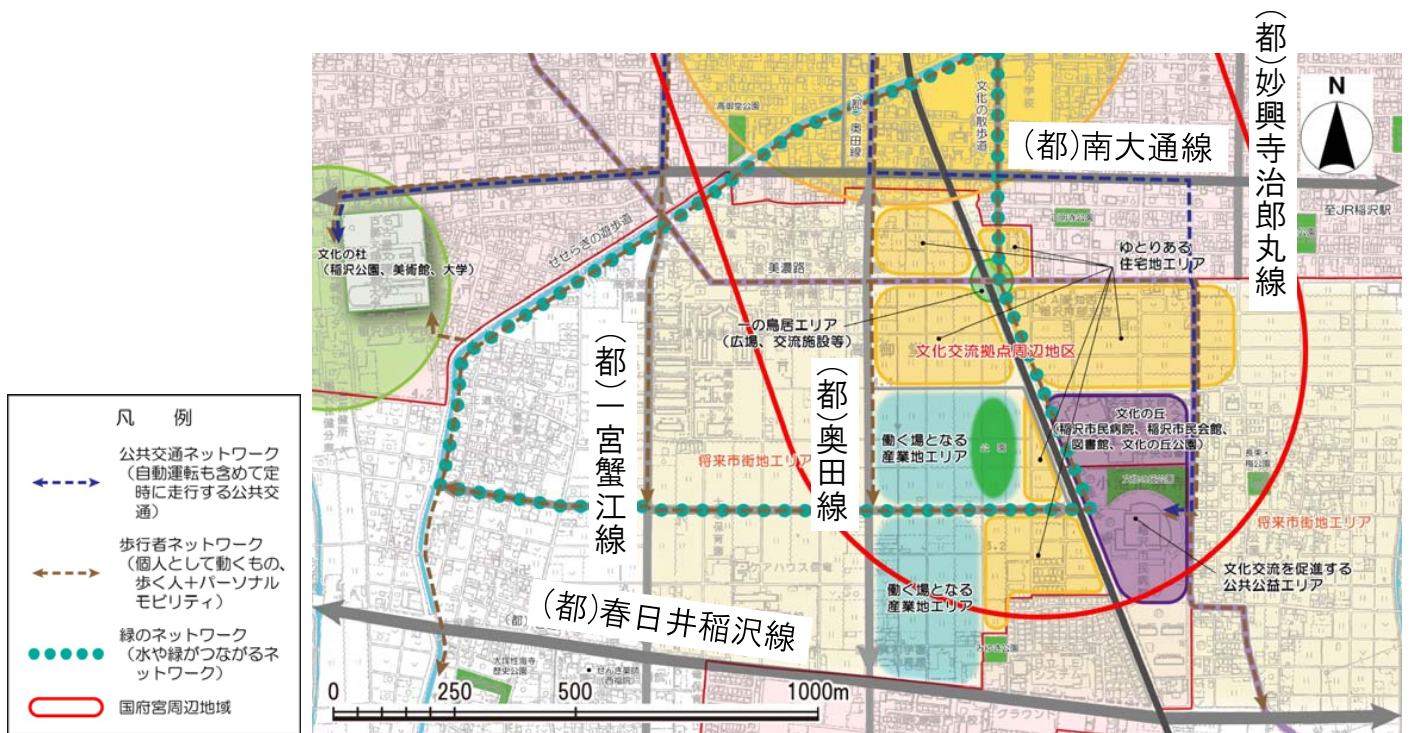
44



(3) 文化交流拠点周辺地区の将来像



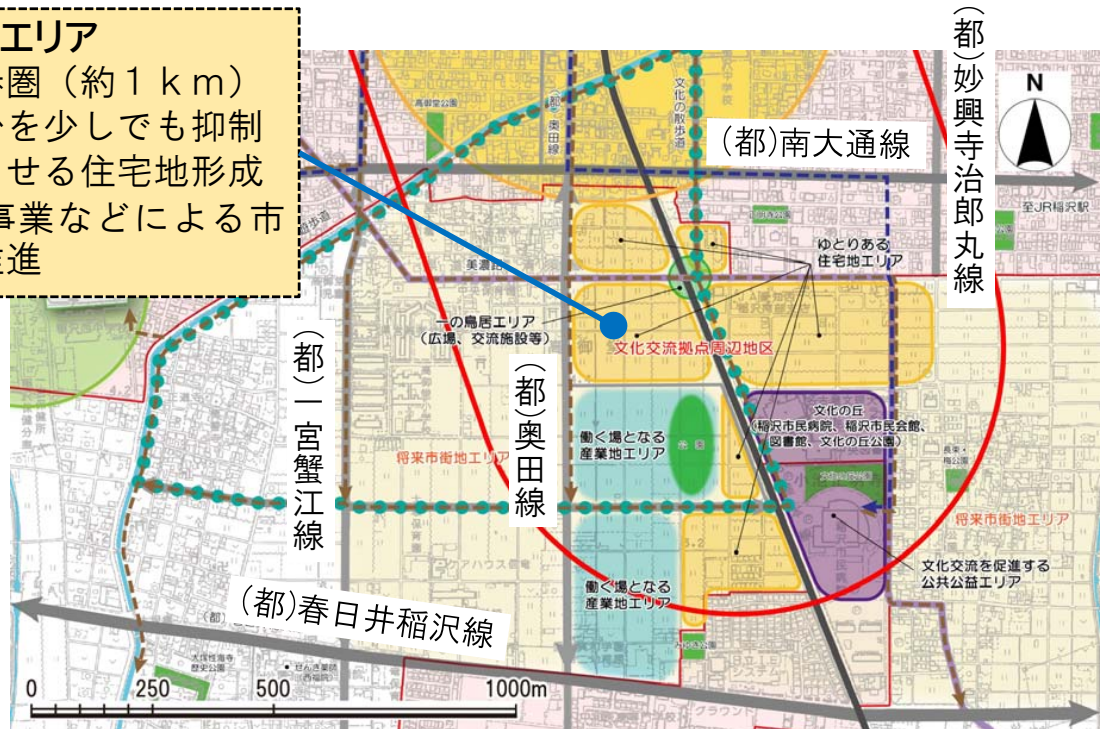
文化交流拠点周辺地区 まちづくり構想図 (案)



まちづくり構想図（案）（ゆとりある住宅地エリア）

ゆとりある住宅地エリア

- ・国府宮駅の徒歩圏（約1 km）
- ・今後の人口減少を少しでも抑制
- ・ゆったりと暮らせる住宅地形成
- ・土地区画整理事業などによる市街地整備事業を推進



47

まちづくり構想イメージ

ゆとりある住宅地のイメージ

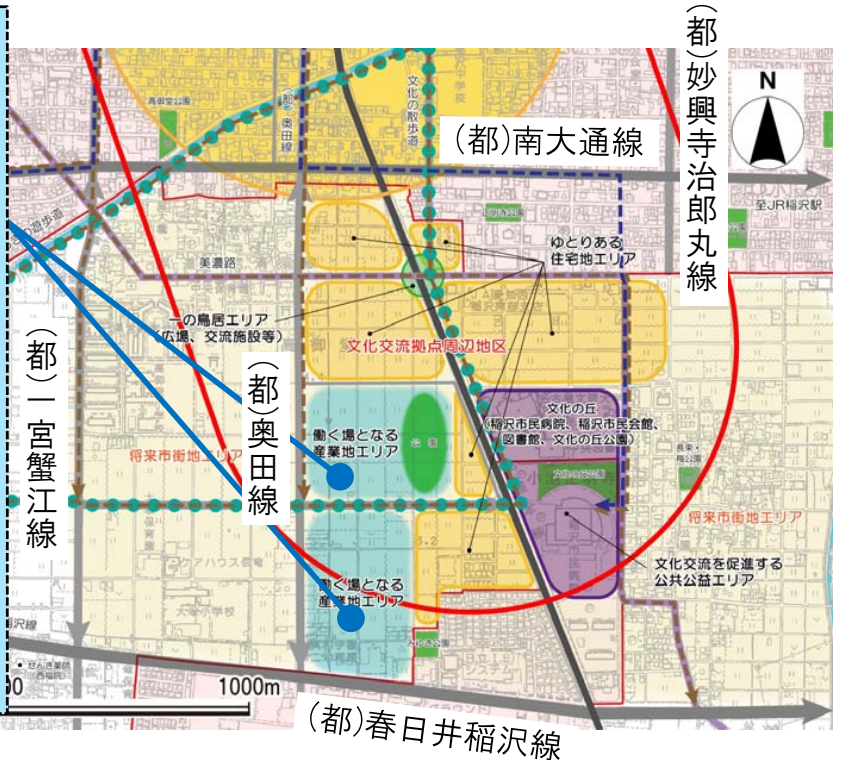


48

まちづくり構想図（案）（働く場となる産業地エリア）

働く場となる産業地エリア

- ・文化活動や医療といった分野と連携が可能な中央部を産業地エリアに設定
- ・市民病院と連携した健康長寿産業などの多様な産業や研究分野
- ・都市中心拠点地区と文化交流拠点周辺地区を連携する環境にやさしい※グリーンスローモビリティ関連企業
- ・周辺の住環境と調和が可能な企業が立地する産業地
- ・地区西側の農地などと連携した、ファーマーズマーケット



49

※グリーンスローモビリティとは

電動で時速20km未満で公道を走る、4人乗り以上のパブリックモビリティ。

| 軽自動車 | 小型自動車 | 普通自動車 |
|-------------|-------------------------------------|---------------------------|
| <p>4人乗り</p> | <p>7人乗り</p> | <p>10人乗り</p> |
| <p>4人乗り</p> | <p>特殊用途車両（8ナンバー）</p> <p>福祉車両タイプ</p> | <p>車椅子リフター可 10人乗り</p> |
| | | <p>車椅子リフター可 16人乗り</p> |

※16人乗り車両の運転にあたっては、中型自動車免許が必要になります。

まちづくり構想イメージ

農業と関わる施設イメージ



大府市げんきの郷



神戸市ファーマーズマーケット



秦野市収穫体験イベント



久万高原クラインガルテン

51

まちづくり構想イメージ

緑豊かな産業地のイメージ



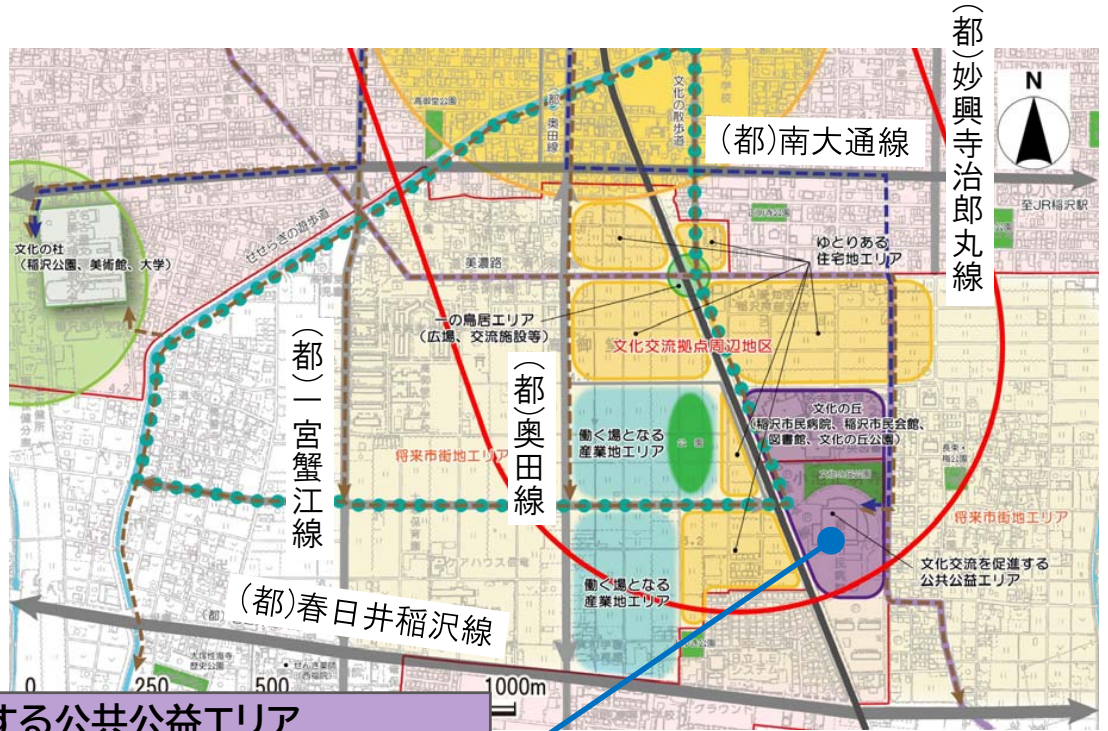
大府市(豊田自動織機)



各務原市(テクノプラザ)

52

まちづくり構想図（案）（文化交流を促進する公共公益エリア）

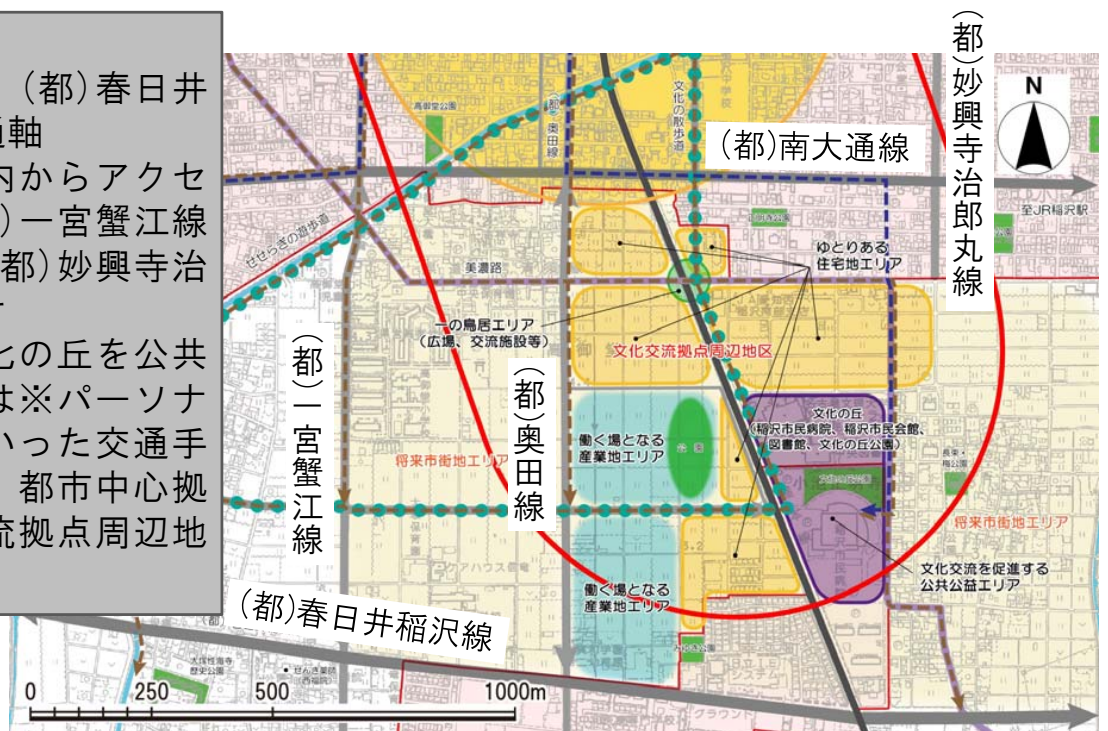


文化交流を促進する公共公益エリア
 ・文化の丘及びその周辺を公共公益エリアに設定し、既存の施設の立地を維持。

まちづくり構想図（案）（交通軸）

交通軸

- ・(都)南大通線、(都)春日井稲沢線を広域交通軸
- ・これらに地区内からアクセスする交通軸(都)一宮蟹江線、(都)奥田線、(都)妙興寺治郎丸線を位置づけ
- ・国府宮駅と文化の丘を公共交通や将来的には※パーソナルモビリティといった交通手段で環状に結び、都市中心拠点地区と文化交流拠点周辺地区の連携を強化



※パーソナルモビリティとは

町中での近距離移動を想定した1～2人乗りの小型電動コンセプトカーなどを指す次世代自動車の概念。



シニアカー(ハンドル形電動車いす)

出典:スズキ株式会社HP

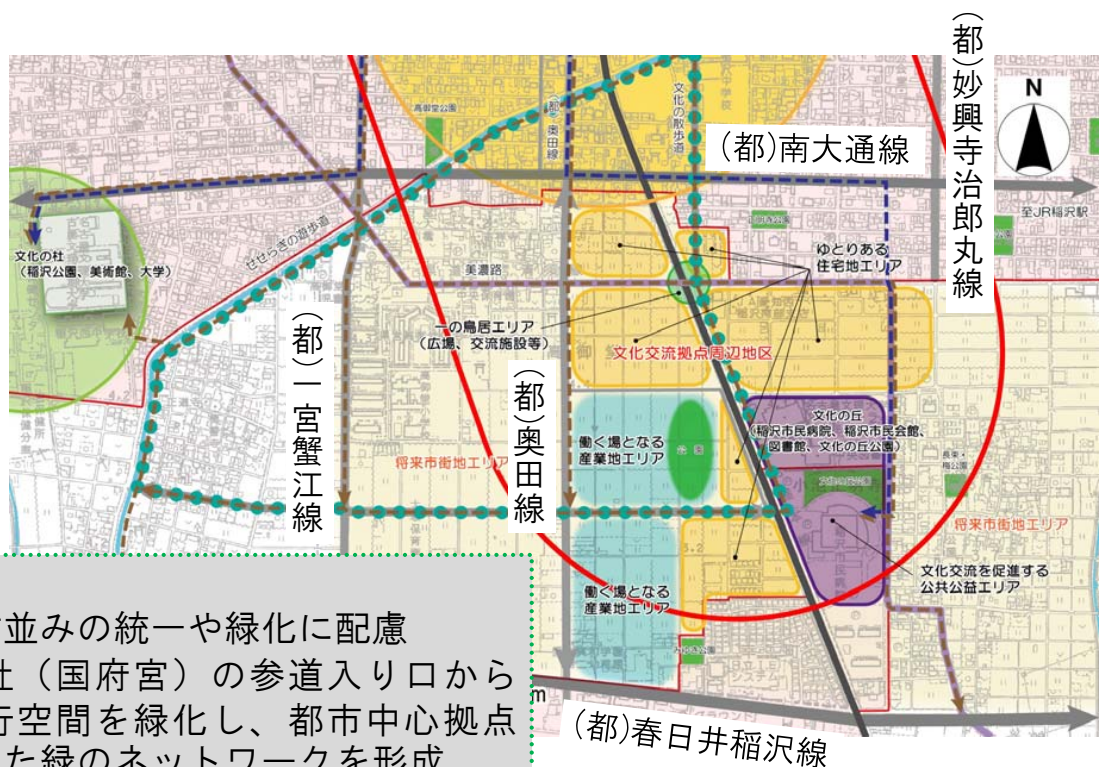


SEGWAY®(セグウェイ)

出典:セグウェイジャパン株式会社HP

55

まちづくり構想図 (案) (緑のネットワーク)



緑のネットワーク

- ・ 美濃路では、町並みの統一や緑化に配慮
- ・ 尾張大國霊神社(国府宮)の参道入り口から文化の丘への歩行空間を緑化し、都市中心拠点地区と一体となった緑のネットワークを形成
- ・ 文化の丘から文化の社を連携する緑のネットワークを形成

56

まちづくり構想イメージ

グリーンインフラの
活用のイメージ

